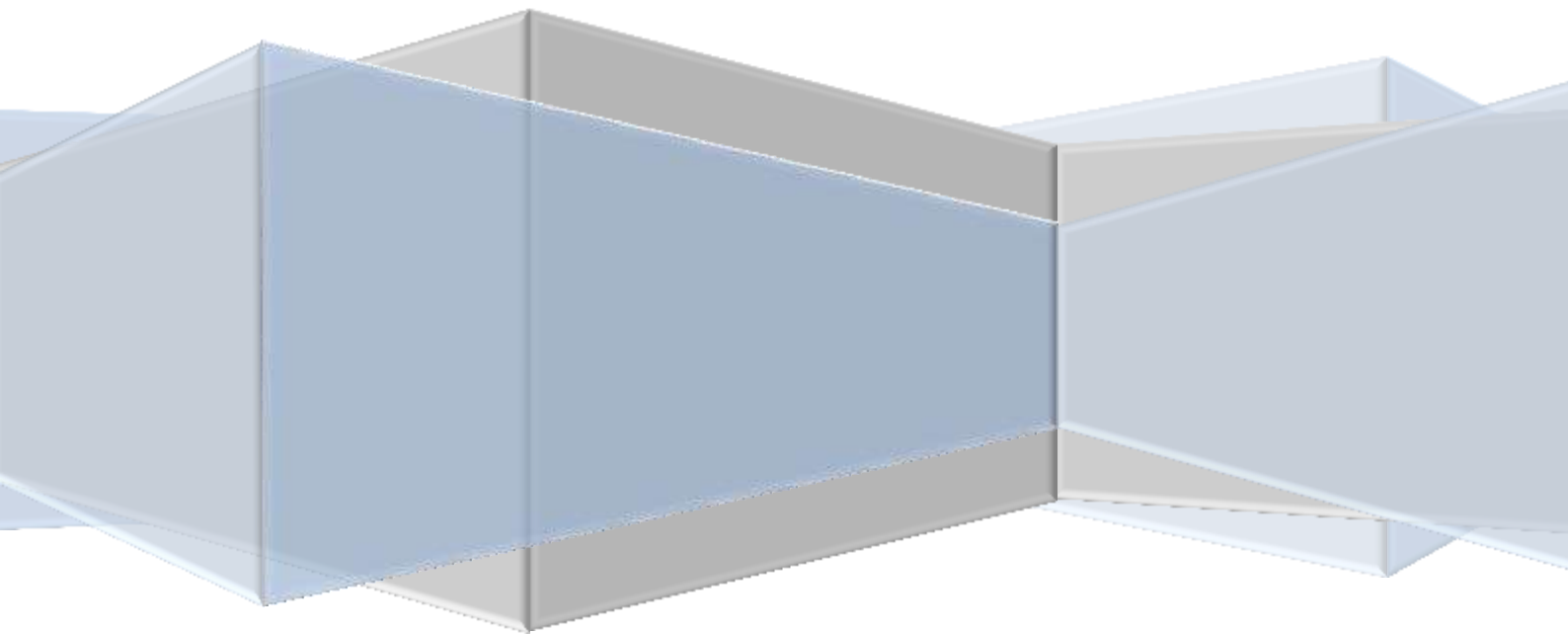




平成 29 年度事業計画

社会福祉法人 若草会

特別養護老人ホームわかくさ



平成 29 年度 事業計画

I はじめに

1 【法人の基本理念】

人々の豊かな生涯を支援する介護の実現

2 【背景】

2025年に団塊の世代が75歳を迎え、久留米市においても4人に1人が高齢者になると推計されております。世帯においては、単身世帯、高齢者のみ世帯が増加傾向にあり、家族形態が変化してきております。

医療・介護制度については平成30年の同時改正を控え、短期的に見直しが行われておりますが、共助による支援だけでは解決できない状況が益々深刻化していくことが予想されます。その為、自助・互助・共助・公助が互いに機能し合う地域作りが期待されております。

社会福祉法人は公益性と非営利性を強く求められる組織として位置付けられています。平成29年4月から社会福祉法人制度は、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取組を実施する責務、行政の関与の在り方を目的とした改革が行われます。

若草会は4月から特別養護老人ホームの運営を始めますが、社会状況を踏まえ地域の方々や入居者が安心して暮らしていけるような施設作りを目指していきたいと考えています。

3 【基本方針】

法人理念である「人々の豊かな生涯を支援する介護の実現」の為、できる能力を最大限に生かしたQOL（quality of life）の向上に努め、日中は生き生きと、夜間は十分な睡眠をとっていただけるよう支援していきます。また全職員が、笑顔と尊敬の念を絶やさず礼を尽くし、最高の接遇を目指し自己研鑽に努めます。

II サービス目標

(1) 個別ケアの充実

- ①利用者個々の目標を職員と共に設定します。
- ②モニタリングを随時行い、一人一人のケアの個別性を高めます。
- ③利用者の身体状況、認知症の症状を細部まで職員が把握するため、アセスメントの充実を図ります。
- ④生活歴や趣味、口癖、性格等の利用者の特徴を把握する事で、個別性のあるコミュニケーションやケアにつなげます。

⑤24時間シートを作成し、利用者の個別性を生かしたケアを提供し、利用者の満足度の高いサービスを提供していきます。

(2) 認知症ケアの確立に向けて

①認知症ケアに関する知識を高める為、年2回認知症の勉強会を実施します。

②季節感を感じられるイベントや調理レクリエーションを毎月行います。

③認知症ケアの専門性を高める為、外部専門研修に職員を積極的に参加させます。

(3) リスクマネジメント、感染症、褥瘡、ユニットケア、レクリエーション、認知症、虐待防止委員会を設置しケアの充実を図ります。

①委員会メンバーはユニットリーダー、専門職に一般職も加え取組の浸透を図ります。

②各種委員会にて年間スケジュールを作成し研修を企画し実施します。

③定期開催の他、必要に応じ委員会を開催します。

Ⅲ サービス計画

その人らしく生活していただけるように、利用者の個々の生活リズムに合わせたサービスを提供します。

時間	項目
7:00	起床・洗面・整容・更衣
8:30	朝食・口腔ケア
9:30	排泄介助・トイレ誘導・おむつ介助・入浴 レクリエーション・嚥下体操・機能訓練等
12:30	昼食・口腔ケア
13:30	排泄介助・トイレ誘導・おむつ交換・入浴 レクリエーション・機能訓練等
15:00	おやつ
17:30	夕食・口腔ケア
18:30	排泄介助・トイレ誘導・おむつ交換 更衣
21:00	消灯・就寝

IV施設行事

時期	イベント	目的等
4月	ウェルカムコンサート	施設内でミニコンサートを開催し、入居者と職員が一体感を感じられるように企画します。
5月	お茶会	新茶にて簡略的な茶道を行い、季節を感じて頂きます。
6月	映画上映会	梅雨時期を快適に過ごしていただくため、映画上映会を開催します。
7月	七夕	季節を感じていただきながら自身の願いを職員と共有します。
8月	かき氷作り	お好みのシロップをかけて、かき氷を作ります。
9月	敬老祭	利用者への敬意を表し、長寿の祝いを家族と共にを行います。利用者と家族、職員との交流の機会とします。
10月	お月見	日本古来の伝統や風習を語り合いながら、季節の移り変わりを感じていただきます。
11月	文化祭	利用者に作品を作っていただき、ユニット内に掲示します。また、楽器の生演奏を聴きリラックスしていただきます。
12月	クリスマス	利用者一人一人クリスマスの飾り付けを考えていただきます。非日常的な空間を提供することで五感を刺激します。
1月	新年行事	新年の抱負を誓い、新年の健康と幸せを祈願していただきます。
2月	節分	豆まきを実施し、季節の変わり目に一年の健康を祈願していただきます。
3月	ひな祭り	お雛様とお内裏様に扮して、皆で記念撮影を行います。

V 職員会議・研修

会議名	内容	頻度	参加者
ケアカンファレンス	ケアプランの更新時に利用者の心身状況等についての情報共有及び検討	月 1 回	各職種専門職
ユニットリーダーミーティング	施設内での問題事項の情報共有及び検討	月 1 回	施設長 ユニットリーダー
ユニットミーティング	利用者の状態やケア方法についての情報共有と問題事項の検討	隔月 1 回	ユニットリーダー 介護職員
褥瘡委員会	褥瘡予防に関わる事項の情報共有及び対策の検討	隔月 1 回	施設長 各職種専門職
事故防止委員会	事故に関わる事項の情報共有及び対策の検討	隔月 1 回	施設長 各職種専門職
身体拘束委員会	身体拘束に関わる事故の情報共有及び対策の検討	隔月 1 回	施設長 各種専門職
感染予防委員会	感染症に関わる事項の情報共有及び対策の検討	隔月 1 回	施設長 各職種専門職
虐待防止委員会	虐待防止に関わる事項の情報共有及び防止策の検討	隔月 1 回	施設長 各職種専門職

時期	研修名	内容等
4 月	安全運転研修	福祉車両を使い、乗降、車椅子の乗り入れ、安全運転について実技形式の研修を行います。
5 月	虐待防止研修	虐待防止法の講義を受け理解を深めます。
6 月	感染症対策研修	疥癬についての知識を学び、具体的な対策を学習します。
7 月	マナー研修 (全職員)	社会人としての基本的マナーである、立居振舞、言葉遣い、挨拶の仕方について再確認し、継続していくことを目的とし講義・実践形式の研修を行います。
8 月	認知症ケア研修	認知症についての理解を深め、認知症ケアの充実を目指します。

9月	ケアマネジメント研修	ケアプラン立案がどのように行われるのか知識を深めます。ケアの個別性を高めるために学習します。
10月	事故対策研修	事故・ヒヤリハット報告に基づき、今後の事故対策について事例を用いて学習します。
11月	感染症対策研修	ノロウイルス、インフルエンザ等施設内で発生が危惧される感染症について知識向上を目的とし具体的な対策を学習します。
12月	褥瘡対策研修	褥瘡についての知識を学び、体位交換、陰部洗浄について学習します。
1月	法令研修	契約、重要事項説明書の内容の理解を深めます。
2月	認知症ケア研修	認知症についての理解を深め、認知症ケアの充実を目指します。
	リーダー研修 (ユニットリーダー)	社会人としてのマナーの確認や職員を指導する立場であるリーダーとしてのマナーを習得することを目的とし講義・実践形式の研修を行います。